

首都圏でユニークな活動をする秋田県出身者を紹介するコーナーです。

あきた人

声磨く講座で

秋田市出身の佐藤恵さん

ビジネス支援



声を磨くことで表現力向上を図るコンサルタント事業を行う「ボイスクリエーションシユクル」(さいたま市)代表の佐藤恵さん(48)は秋田市出身。写真。

「声や話し方、表情によって聞き手の受ける印象は違ってくる。声を磨くことは健康維持にもなるし、企業にとっては顧客満足度やイメージのアップにもつながる」と語る。

現役のラジオパーソナリティー。エフエム浦和レッズウェブで地域密着型の番組制作に取り組んでいるほか、英国のプロ資格を持つ社交ダンスの腕前も生かし、ダンスフェスティバルを開催するなど活動的だ。

秋田高―早大仏文学科卒業後に結婚。夫(57)の駐在先の英国、カナダなどで2002年まで通算13年間、

海外で暮らした。帰国後は「何か社会との接点を持ちたい」と40歳でアナウンス学校へ通った。

静岡県熱海市のラジオ局のパーソナリティーを経て、05年開局した現在の局に。「放送現場で駆使する『話す、聞く、表現する』のスキルは、日常生活のあらゆる場面で人間関係を構築する重要な鍵を握るはず」。09年に起業し、さいたま市産業創造財団のニュービジネス大賞女性創業賞を受賞した。

電話対応や知性を感じさせる滑舌、プレゼンテーション能力などを鍛える各種講座を用意。企業の依頼で研修も受け持ち、人前でのあいさつが苦手な会社社長に「極秘研修」したこともある。

受講生の中には「取引先に商品の良さをうまく伝えられない」といった悩みを抱えるビジネスマンや、「人との接し方に自信を持ちたい」という女性も。「声は見えないから、どう伝わっているか気付かない」。講座ではビデオ撮影して気付けさせることから始める。

「グローバル社会では、以心伝心だけのコミュニケーションは通用しない。声はその懸け橋になる」。あきた企業活性化センターの登録専門家。秋田市で開かれた創業支援セミナーでも講師を務めた。長男(21)、長女(19)と4人家族。埼玉県上尾市住。

(小川 顕)